

7 つり (ライフジャケット着用の仕方は所員が指導)

胎内川で小さな魚をつり上げます。つり竿の貸し出しは、60本まで可能です。

- ・ 日本海の海水と胎内川の淡水がぶつかる河口流域は、ハゼやウグイ、小さなシマダイなどがつれます。
- ・ ライフジャケットを着て活動します。
- ・ バス等、交通手段を確保して実施してください。



時 期	6月～9月	所要時間	2時間～3時間	活動場所	カヌー体験を行うカヌー場横の船だまり P. 17の図 参照
対 象	小学校4年生以上 (大人同伴であれば1年生からでも可)			人 数	60人程度
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	<input type="checkbox"/> つり竿 (60本) <input type="checkbox"/> ライフジャケット		<input type="checkbox"/> つりえさ (青イソメ 等) <input type="checkbox"/> 仕掛け→はり、おもり、浮き、つり糸がセットになります。 <input type="checkbox"/> バケツ、クーラーボックス 等 <input type="checkbox"/> 長ズボン着用 (足保護のため)		
活動の手順	事前指導	1 引率者は監視する場所を決める。 2 ライフジャケットの着方について説明を受ける。 3 仕掛けの取り付け方の説明を受ける。			
	活動の実際	1 活動の説明を聞く。 (1) つりの楽しみやねらい (2) 仕掛けの取り付け方の説明 (3) 竿の穂先にある金具 (スナップ付タル6号) に仕掛けを取り付ける。 注意事項 ※事故を防ぐため、次のことについて十分守る。 ・ 指示があるまでライフジャケットを着ている。 ・ 決められた場所で活動する。 ・ つり竿は振りまわさない。 ・ 周りの人にぶつからないよう、針はそっと水に入れる。 2 活動開始 ※えさの取り扱いについてうまく出来ない場合、つり糸がからまり困った場合は、すみやかに引率者が点検し対応する。(使えなくなった場合は、スペアの仕掛けと交換する。) 3 終了後の説明を聞く。 (1) 仕掛けを穂先の金具から取り外す。 (2) 取り外した仕掛けを糸巻きに巻きつける。 (3) つり竿を返す。 4 参加人数の確認。			
	事後	つり竿を返すときに、穂先に不備がある場合は、所員に連絡をする。			
備 考	1 つりの仕掛け (スペアも含む)、つりのえさは事前に注文をしておけば、「つり具のナガイ」が自然の家またはカヌー場まで届けてくれます。 ・ つりえさ取扱店「つり具のナガイ」 Tel0254-62-2530 2 利用料金 (「つり具のナガイ」で購入する場合) (1) つり仕掛け一式+えさ (長さ2m50cm) 1人用 500円 (税込み) (2) つりのエサのみ 青イソメ1パック (4人分程度) 450円 (税込み) ※つりの仕掛けは持ち帰ってください。 3 自然の家所員は、指導に付きませんので、団体で指導体制を組んでください。 なお、「つり具のナガイ」に (仕掛けの付け方・竿の扱い方・餌の付け方・釣針交換・魚 はずし等) 指導依頼もできます。指導料: 1団体2, 500円 (税込み) 4 安全上、長ズボンを着用して釣りを行ってください。				

